

2021年11月25日

三重県知事  
一見 勝之 殿

U Aゼンセン三重県支部  
支部長 楠本 敏久

### 小売店舗でマスク着用の徹底を求める緊急要請

三重県は、9月30日に緊急事態宣言が解除された。10月14日までのリバウンド阻止重点期間以降も、新型コロナウイルス感染症の感染者数は減少している。これは、「三重県指針 Ver13」に基づいた「感染防止対策」の周知・徹底されていることが、大きな要因の1つであると考えられる。

一方で、PCR検査無料検査の実施、ワクチン接種が進んだことに伴い、小売店の店舗内でマスクを着用しない顧客が増えており、U Aゼンセンに所属する組合員から強い不安を訴える声が届いています。

「川合孝典」参議院議員が、8月26日の厚生労働委員会で「ワクチン接種を終えた方に対してもマスク着用の継続（マスク着用を啓発するメッセージを政府から明確に発信）」を問題提起しました。

三重県においても、生活必需品を扱う小売業のエッセンシャルワーカーが安全、安心して業務に専念できるよう、下記の通り、感染防止対策の必要性和理解を三重県民に求める対策を要請致します。

#### 記

1. 「買い物時のマスク着用ルール」を顧客に啓発する店舗掲示用のポスター等の作成の上、顧客へのマスク着用の周知を要請いたします。

【別紙：東京都告知ポスター参照】

以上